支援員に求められる 倫理と基本姿勢

明治学院大学

社会学部 新保美香

はじめに

- ▶「支援員に求められる倫理と基本姿勢」は、 生活困窮者自立支援にかかわるすべての 職員、支援員が、実践の礎として備えて おくべき行動規範とそれを実現するための あるべき姿を示したものです。
- ▶「3つの倫理と8つの基本姿勢」を よりよい実践の拠り所として常に意識し、 日々の業務に臨んでください。

支援員に求められる 倫理と基本姿勢

▶支援員に求められる「3つの倫理と8つの基本姿勢」は、『生活困窮者自立支援法自立相談支援事業従事者養成研修テキスト』(中央法規出版、2014年)の▶35~44に記載されています。

ぜひ、テキストに記載されている内容を、 しっかり読んでいただきたいと思います。 その前に、ここで確認してみましょう!



問1:「3つの倫理」とは?

≻次の空欄に、

「3つの倫理」を記入してください。



「倫理」として、今、頭に思い浮かんだ キーワードを記入してください。



問2:「8つの基本姿勢」とは?

1	4	6
2		7
3	5	8

「3つの倫理」

1

権利擁護

- ①尊厳の確保(保持)
- ②本人の主体性の確保

2

中立性・公平性

3

秘密保持



いずれも、 信頼される相談支援を実現するために、 とても大切なことばかりです。

「8つの基本姿勢」

□ 1. 信頼関係の構築 □ 受容的対応 □ 傾聴 □ 感情表現を手伝う	□ 4. 家族を含めた支援□ 家族全体を捉える□ 家族も支援の対象□ チーム支援の必要性	□6. チームアプローチの展開□ 連携のとれたチーム□ 支援員は調整役□ 利用者の了解を得る
口 二 二 上	支援にかかわる すべての人が 心にとめて おきたい 重要な内容です。	□7. さまざまな支援の□ ユーディネート□ ニーズに即した調整□ 多くの選択肢の提示□ 丸投げしない支援調整
□3. 自己決定の支援 □ 自己選択による 自己実現を支援 □ エンパワメント アプローチ □ 強みに着目した支援	□5. 社会とのつながりの構築□ 社会参加は自立の土台□ 本人を支える環境整備□ 仲間や居場所の意義	□8. 社会資源の開発 □ 地域状況の理解 □ 既存の資源の理解 □ 新たな資源の創設

問3 事例「猫の相談」

「猫の飼い方を 教えてください.... と、相談者が窓口に 訪れました。 あなたは、支援員 として、どのように 対応しますか?



どのように対応しますか?

× 他機関を紹介… O 話を聴いたら…





理念・基本倫理・基本姿勢を踏まえた実践のために...

- 1. 制度ではなく「人」を起点とした実践を!
- 2. 理念・倫理・基本姿勢を常に意識にしよう。
- 3. 謙虚な専門家 (プロフェッショナル) を目指そう。
- 4. 相談者から学び、相談者とともに歩みをすすめよう。

理念の実現を目指し、 自分自身を磨き、相談者とともに、 チームで実践していきましょう!